

端柄補正值設定—間 柱

端柄材補正值設定

参照仕様名 標準仕様 仕様読込 OK

材長制限 根太 間柱 キャンセル

窓台・間柱受 筋違 隅谷木

垂木・破風・垂木掛 胴縁・天井野縁

前頁 次頁

物件設定 入力設定 加工設定 補正值設定 野縁設定 材設定

間柱欠量 上 10.0 下 10.0 mm

間柱上端 端部補正值クリアランス

対桁・梁の間柱欠き 7.0 mm

対頭繋ぎの間柱欠き 7.0 mm

対窓台・数居の間柱欠き 7.0 mm

間柱ホゾ高さ 24.0 mm

ホゾ巾 30.0 mm

ホゾ厚 30.0 mm

窓台・まぐさブレナー量 2.0 mm

建具上隙間補正值 0.0 mm

建具下隙間補正值 0.0 mm

垂木下補正值 0.0 mm

垂木下形状 2段型 斜め

垂木欠テーブル参照

登梁下対応

数居 鴨居 頭繋

数居/鴨居/頭繋 40.0 40.0 100.0 mm

上 下 奥行

胴縁欠 クリアランス 0.0 0.0 0.0 mm

W筋違当欠き残り量 0.0 mm

間 柱では、間柱の加工に関する設定を行いません。

- ① 〔間柱〕を選択します。
- ② 〔間柱〕の画面が開きますので、各設定をし、「OK」をクリックします。

端柄補正值設定—間 柱

間柱欠量：間柱の端部加工が間柱欠きの時の欠込み量

間柱ホゾ高さ：間柱の端部加工が間柱ホゾの時のホゾ深さ

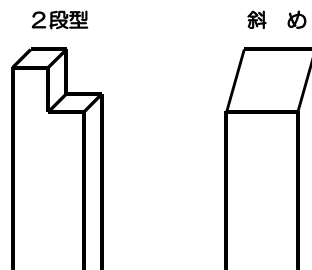
窓台・まぐさプレナー量：窓台・まぐさのプレナーにより材成調整値

建具上隙間補正值：間柱が開口部によって分割される時の、建具の上の隙間調整値

建具下隙間補正值：間柱が開口部によって分割される時の、建具の下の隙間調整値

垂木下補正值：小屋裏間柱の上端が垂木の下に当る場合の、材長調整値

垂木下形状：小屋裏間柱の上端が垂木下に当る場合の垂木形状を選択します。



垂木欠テーブル参照：軸組で設定した垂木欠テーブルを参照して間柱長を決定します。

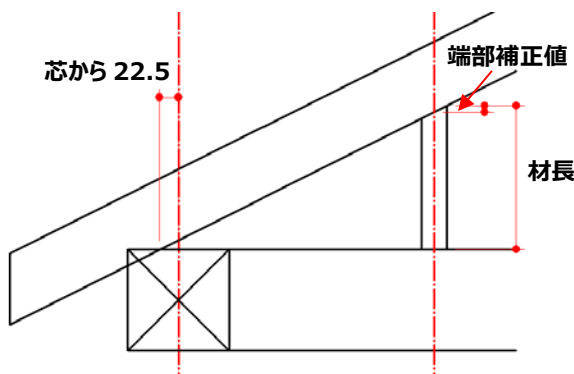
＜垂木下形状：斜め＞の場合

垂木下形状が「斜め」で垂木欠テーブル参照の設定が OFF の場合、〔初期設定一端柄材加工設定〕の「屋根廻り」で設定されている「ケビキ線位置」によって間柱材長が変化します。



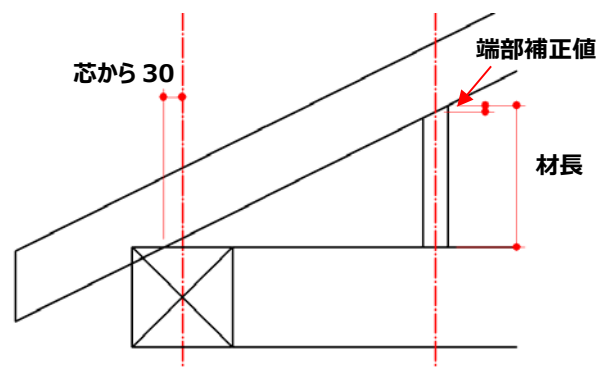
・垂木欠きテーブル参照：OFF

※ケビキ線位置：桁芯 22.5 の場合



・垂木欠きテーブル参照：ON

※垂木欠テーブル：芯から 30mm の場合



ケビキ線位置が「桁角」の場合、垂木下間柱の材長計算には未対応です。垂木欠き位置が桁芯として材長計算されます。

入力関連マスター—端柄材加工補正值設定／間柱

＜垂木下形状：2段＞

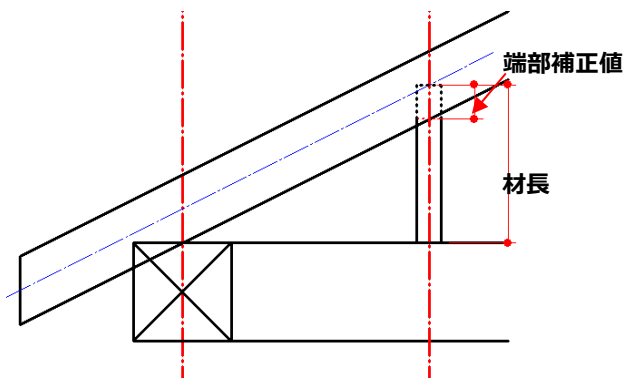
材長は垂木の材成／2と間柱材芯の交点です。

※垂木材成は、初期設定で設定されている材成であり、配置材成ではありません。

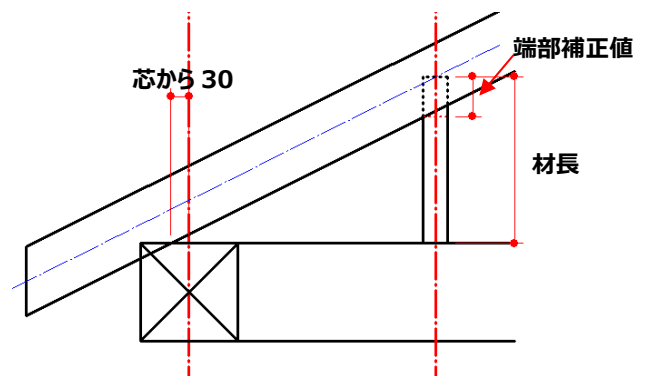
・垂木欠きテーブル参照：OFF

・垂木欠きテーブル参照：ON

※垂木欠テーブル：芯から 30mm の場合



垂木欠き位置が桁芯として材長計算されます。
間柱胴付位置は、間柱材芯です。



間柱胴付位置は、間柱と垂木下端側の交点
です。

登梁下対応：登梁下端で間柱長を決定します。

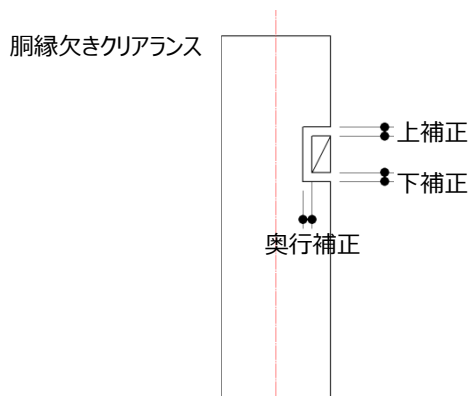
鴨居材成：真壁間柱が開口部によって分割される場合の、開口部上間柱の材長計算用の鴨居材成

敷居材成：真壁間柱が開口部によって分割される場合の、開口部下間柱の材長計算用の敷居材成

頭繋ぎ材成：土台、桁レイヤの間柱上端に横架材が存在しない場合、そこには頭繋ぎが配置されているものとして間柱材長を計算します。その頭繋ぎの材成

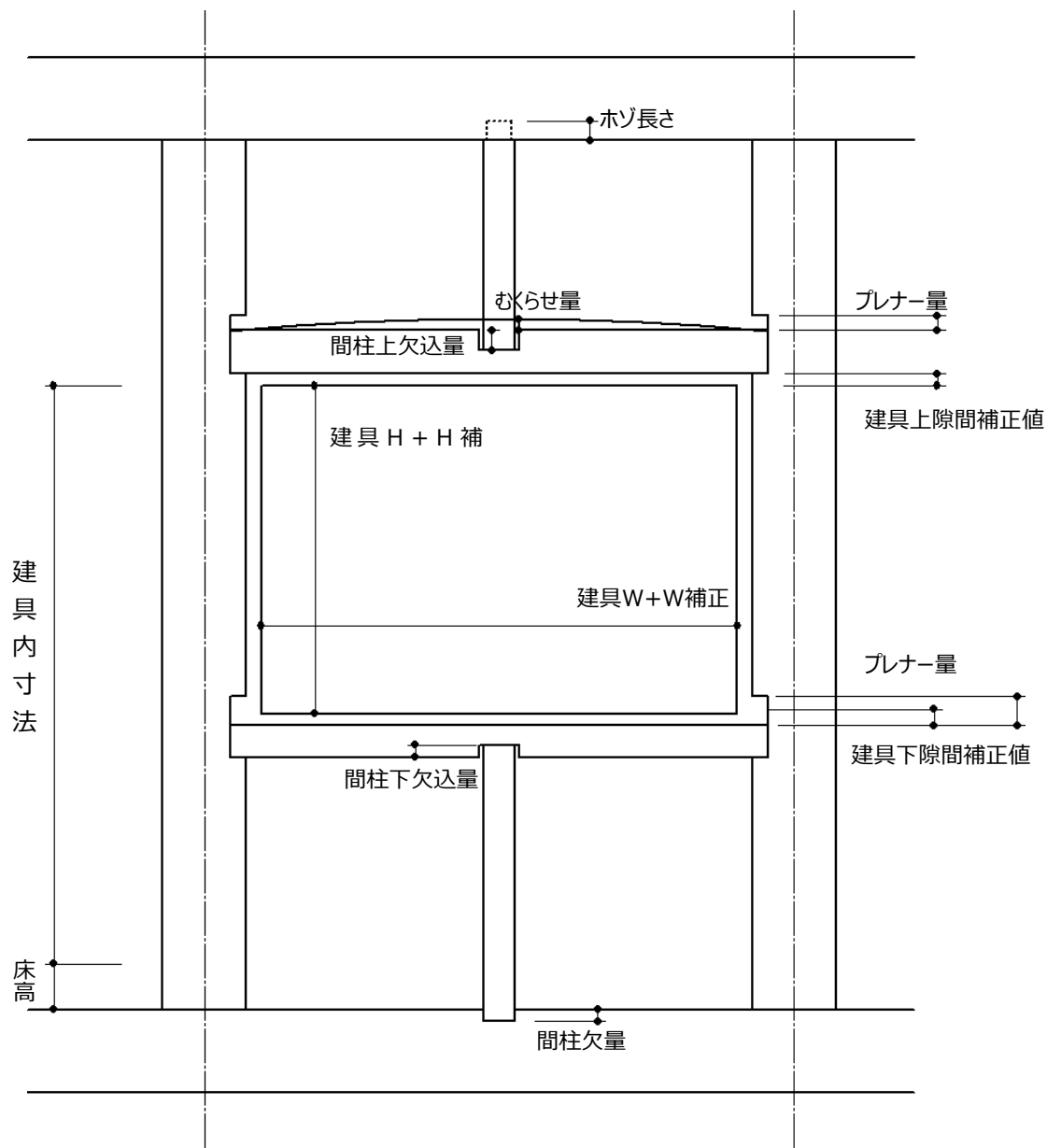
胴縁欠：胴縁欠有無の設定を行います。

胴縁欠きを行う場合は、クリアランスを設定します。



入力関連マスター—端柄材加工補正值設定／間柱

・大壁間柱の設定位置は次の図の通りです。



入力関連マスター—端柄材加工補正值設定／間柱

・真壁間柱の設定位置は次の図の通りです。

